

当院で樹立した新規胃がん細胞株、CDX、PDX 株 における生体分子の発現と投与薬物の代謝・生 体応答に関する研究

研究概要

1. 研究対象

「胃がんに対する新規薬剤開発支援のための研究基盤確立と遺伝子変異・発現情報
エンサイクロペディアの作成にかかわる研究」に参加され（対象期間：2013年5月10
日～2017年5月9日までに参加）、検体の二次利用に拒否されていない方を対象とし
ています。

2. 研究の意義

抗がん剤の開発においては、あらかじめ薬剤の治療効果や毒性を確認するため、がん
細胞株や動物モデル（がん患者由来動物移植組織（PDX）など）を用いた基礎研究が行
われます。特に、がん患者由来動物移植組織（PDX）を用いた場合、実際のヒトのがん
細胞の環境に近いと考えられており、臨床での治療効果の予測に有用であると考えられ
ております。今回の「当院で樹立した新規胃がん細胞株、CDX、PDX 株における生体
分子の発現と投与薬物の代謝・生体応答に関する研究」では、すでに実施中の「胃がん
に対する新規薬剤開発支援のための研究基盤確立と遺伝子変異・発現情報エンサイクロ
ペディアの作成にかかわる研究」で樹立された、がん細胞株、がん患者由来動物移植組
織を用いて、抗がん剤治療などの治療前後における細胞内の代謝などを比較致します。

3. 目的・方法

「胃がんに対する新規薬剤開発支援のための研究基盤確立と遺伝子変異・発現情報
エンサイクロペディアの作成にかかわる研究」の残余検体を用いた研究として、がん
細胞株、がん患者由来動物移植組織を用いて、抗がん剤治療などの治療前後における
細胞内の代謝などを比較することで、作用機序や耐性機序を探索することを目的としま
す。研究期間は研究許可日から2029年3月31日です。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究は、すでに「胃がんに対する新規薬剤開発支援のための研究基盤確立と遺伝子変異・発現情報エンサイクロペディアの作成にかかわる研究」で樹立している、がん細胞株、がん患者由来動物移植組織を利用しますので、検体を新たに採取することはありません。40名の患者さんの残余検体を解析する予定です。本研究では患者情報として、病名・癌のステージ・性別等を用います。

5. 研究組織

国立がん研究センター 先端医療開発センター 安永 正浩

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

●研究責任者/代表者：

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

国立がん研究センター 新薬開発分野 安永 正浩

TEL：04-7133-1111/ FAX：04-7134-6928

●お問い合わせ先

研究事務局

古賀 宣勝

国立がん研究センター先端医療開発センター 研究企画推進部門/動物実験管理室

連絡先：〒227-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

TEL：04-7133-1111/FAX：04-7131-6928

小金丸 茂博

国立がん研究センター東病院 先端医療科

連絡先：〒227-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

TEL : 04-7133-1111/FAX : 04-7131-6928